

取扱注意

[illegible]

◎人間関係 ☐ 話し相手がいる ☒ 仲の良い友だちがいる(○年○組 ○○ ○○) ☐ 集団に入ることができる ☐ その他 (具体的に) 仲の良い友だちは、同じサッカー部に所属。 ◎夢・願い・意欲等 ☐ あこがれる仕事や人がある ☒ 好きな(やりたい)ことがある ☐ 得意なことがある ☒ 部活・クラブ(サッカー) (具体的に) サッカーは好きで、頑張りたい気持ちがある。	◎関わり ☒ 担任 ☐ SSW ☐ 保健所員 ☒ 担任以外の教職員(不登校対策担当者) ☐ 医療関係者 ☐ その他() ☐ 教育支援センター職員 ☐ 市町村保健福祉部関係者 ☐ SC 関係機関の担当者・関わり具合
◎関係機関等からの情報(本人の情報)	
◎小学校からの情報	
小学校6年生から生活習慣に乱れが生じて、3学期後半から欠席が続く時期があった。	
◎趣味・興味関心のある事など	◎その他特記事項(気になる言動(自傷行為等))
サッカー、ゲーム	

保護者に対する見立て

学校	保護者の子育てに対する意見が一致していない。母親が学校との窓口になっており、登校刺激を積極的にしていってほしいと考え、学校に協力的である。
SC	保護者の足並みを揃えることが第一である。母親の登校刺激がプレッシャーになることもあることも母親に伝え、理解をもらう必要がある。
SSW	
その他	

本人に対する見立て

学校	11月に入って遅刻・欠席が多くなり始めた。きっかけは、クラス内の人間関係づくりの不安から欠席が増えたが、家庭内での父親と母親の教育方針のズレなど家庭環境の要因も影響している。学校に来たときには、イライラする様子もある。
SC	両親の教育方針のズレによる心身の不安定がみられる。保護者が話し合いの中から共通の意識で本人に接していく必要がある。
SSW	
その他	

プランニング

長期		学校と専門家とが協力して、不登校の大きな要因と考えられる両親の教育方針のズレの解消を図るため、の対策を講じ、3年生から、現在の状態1から状態0になることを目指す。			
		目標	取組	校内での役割分担	成果と課題
短期	1 学期				
	2 学期	放課後登校でもいいので、短時間でも学校に来ること。	学校全体での情報共有をしっかりと行い、別室登校を勧める。家庭の要因も大きいので、SSWからの支援も開始する。	担任：本人への関わり(1日1回の電話連絡など) 不登校対策担当者：SCとの窓口 SC：保護者への相談対応	(12/20ケース会議) ・短時間の登校は継続できており、別室登校も始めた。冬休みをさむるので、休み明けの対応を慎重に行う必要がある。 ・父の離職が判明し、福祉的な対応も検討する必要がある。
	3 学期	支援を継続しつつ、できるだけ長時間学校に滞在できるようにすること。	別室登校を継続しつつ、教室復帰に向け、本人や保護者へ慎重な働きかけを行う。	担任：本人への関わり(面談・事務連絡等) 学年主任：別室使用計画作成 不登校対策担当者：SC・SSWとの窓口 SC：保護者への相談対応 SSW：家庭への福祉的な支援の検討	

留意事項

- ・ケース会議の基礎資料として活用するため、作成の対象はケース会議の対象となる児童生徒です。
- ・作成時に全ての情報を埋める必要はなく、埋められる部分を記入し、ケース会議などで新たに知り得た情報を随時追記します。
- ・本シートとは別に、日々の対応履歴を記録するようにします。
- ・小学校については、登校支援員等の関わりを記入する欄を別途設けています。